

青木 敏 議員

**Q** 議会の十分なチェックがないから高い給与になった。議員にも責任があるということか。

**A** 条例主義なので、議会へ提案し、承認されていると認識している。

**Q** ①人事委員会のな  
②本町  
住民の民間事業従事者の年収の平均はいくらか。③その他の事情を考慮して定めるとあるが。

**A** ①人事院勧告に準

②本町の民間事業従事者の年収の平均は、民間事業所と均衡が図れると認識している。③正規雇用で200万円以上は8300人で、平均給与額は約66.4万円。非正規を含めると41万3000円。③その他の事情は不明。地

**Q** 評価に基づいた人事考課制度に取り組みとのことだったが。

**A** 評価制度を調査、研究中。システムができたなら導入時期を考えたい。

**職員給与の15%削減、特別職(町長、副町長、教育長)の報酬30%削減を提案しました。**

21年度(21.4~22.3)階層別給与費一覧  
★情報公開資料を参考

職 種	職員数	年 収	年 令
町 長		12,653,272	70歳
副 町 長		11,076,748	67歳
教 育 長		10,570,634	66歳
			平均年令
部 長	6	8,969,276	56.0歳
課 長	24	8,426,763	53.0歳
課 長 補 佐	14	7,976,645	51.9歳
係 長	50	7,564,649	49.6歳
一 般 職			
部長級以下全職員	246	6,383,615	43.4歳
管理職を除いた職員平均	152	5,424,709	38.6歳

この年収民間と比較して？

安宅吉昭 議員



さらなる支援を求める

**Q** 粕田駐在所廃止の対応は

**A** 粕田交番の設置を強く要望

**Q** 府警がこの3月末で粕田駐在所を廃止し祝園交番に統合することに対して、町はどのように対応したのか。

**A** 「粕田駐在所の廃止を延期するか、用地は町で確保するので粕田駅東地区に粕田交番を

設置してほしい」と強く要望した。府警は祝園交番を9人に増やし24時間体制で警備に全力をあげるとの回答。

**Q** 祝園交番も祝園駅前に移転することが治安維持、安全対策上最適であるが、用地は確

保するのか。

**A** 交番の設置主体は府警であるが、用地はJR祝園駅前の町有地を検討している。

**Q** スクールヘルパー支援の活動により、児童の登下校の安全が確保さ

れている。町の活動支援は。

**A** 現在446名がボランティアとして活動されている。ボランティア保険の加入、スクールヘルパー連絡会議の開催、京都府からの活動に必要な物品の提供を受ける事務業務。今後はネットワークの構築に向けて支援していく。

宮崎 睦子 議員

**Q** 制定された詳しい経緯と、今後の取り組みとして、まずは庁舎からオーナー制を採り入れ、「町の花」を定着させては。

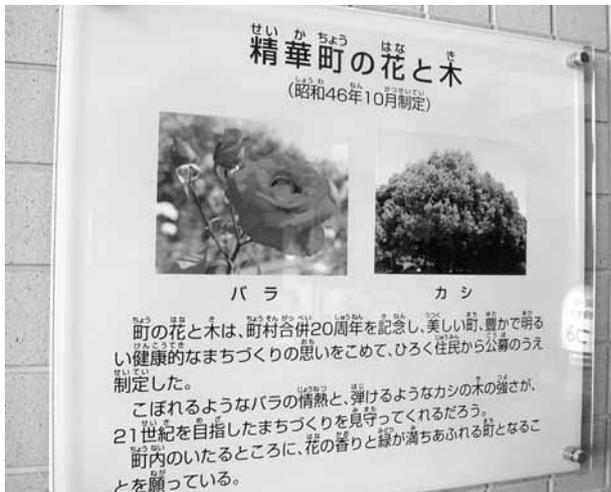
**A** 美しい町、健康的なまちづくりを進める道しるべとなる花を公募。ばらが持つ情熱のイメージが町の歩む理想のまちづくりを見守ってくれると期待して、昭和46年10月、町村合併20周年を記念して制定した。教育効果を重視したため、実際上の行政施策のなかでの取り組みはなかった。今後はブランド戦略の大

綱を検討するなかでぜひ採り上げていきたい。**Q** 子宮頸がんワクチン接種事業における啓発活動の進捗状況は。

**A** 広報誌「華創」への掲載やホームページの周知に加え、対象者全員に問診票とパンフレットを配布した。教育現場では養護教員が情報収集した。対象者の保護者あてに山城南保健所での説明会の案内チラシを配布した。

**A** ぜひ採りいれたい

**Q** 「町の花」ばら」を植えよう



森元 茂 議員



保護してほしい景観

**Q** 景観条例制定の考えは

**A** 先ず住民意識を高める

**Q** 良好な景観の保全につながる、豊かな生活環境、活力ある地域社会の実現に寄与するために、近年、景観は、歴史的景観や自然的景観、都市景観だけでなく、生活空間そのものを表すものと考えている。

**A** 国においては、平成16年に景観法が制定され、多くの自治体は景観法に基づき景観条例を制定している。本町として、社寺仏閣、遺跡などの歴史的景観保護地区、町民の憩いの場となる里山保全保護地区、町民文化の伝統のある古民家を大切にしたい。景観保護地区などを盛り込んだ景観条例の制定が必要と考えるが、所見を伺う。

**A** 景観という客観的指標が難しい規制を設けるに際しては、地域住民の方々の関心や意識啓発が必要不可欠と考えており、先ずは既存の地区計画や建築協定、まちづくり条例等

の施策を使いながら、本町の地域特性が発揮できるように住民意識を高めていく。

町道整備計画についても質問しました。

山本清悟 議員

**Q** 昭和55年、打越台の建設費用を町が全額負担して建設した。その償却費用として塵埃組合で積み立てている基金は、精華町のものか。

**A** 覚書にも書いてあるように、当時の3町において精華町の資金であると確認されているか。

**Q** 条例の改正を早急に覚書条項にある塵埃組合の条例改正がいまだされないのは、平成18年の第2回定例会議で条例改正すべきところが諸般の事情で行われていない。条例改正に向け町として働きかけを。

**A** 組合の管理者会議などで、強く「条例改正を早期に」と意向を伝えていく。

**Q** 組合の説明会は未実施。木津川市の環境センターの進捗状況は。

**A** 予定地の鹿背山地区では、説明会実施まで至っていない。

**A** 塵埃組合の条例改正が必要

**Q** 6億3千万円の基金を早く精華町に

三原和久 議員



クラブ活動の充実を

**Q** 中学クラブ活動費を町負担にできないか

**A** 課題として受けとめる

**Q** ①指導者が忙しく、練習時間に出てきていないために生徒の活動ができていないことを把握しているのか。

**A** ①副顧問をおき、練習はできていないと把握している。

**Q** ②学校で責任をもって対応する。

**A** ②自主的なので可能。

新学習指導要領 実施にともない

内海 富久子 議員

**Q** 全国調査で、不妊の心配をした夫婦は4組に1組と増加傾向。府は、保険適用外の人工授精を新たに助成対象とし、助成額を6万円に増額した。身体的・心理的な負担、高額な治療費で出産をあきらめないために本町の負担軽減を求める。

**A** 府の限度額、治療内容拡充など財政状況も含め前向きに検討する。  
**Q** マイ保育園登録制度を様々な子育て支援事業を利用されない方が、子育てに一人で悩む孤立化を防ぐために、身近な保育園で継続的に支援をうける事業の

導入を。  
**A** 子育て支援事業の実績も踏まえ、前向きに検討する。  
**Q** 本町の行政サービスやまちづくりなど女性の感性、視点をいかに導入できるかは、行政の主導的な役割が重要である。政策決定ボ

**A** 府の動向を注視し、前向きに検討する

**Q** 不妊治療助成の拡充を

ストである各審議会、管理職への積極的な女性の登用を。  
**A** 女性人材リスト登録実施で参画に期待している。昨年、課長補佐、係長が大幅に増加した。研修、研究など経験を積み、早期に管理職に、登用していく。



ひとりで悩まないで安心して子育てを

鈴木 秀行 議員



どう守る精華町の農業

**Q** 国保の広域化をどうみる

**A** 安定運営に必要

**Q** ①国保の広域化が具体的に進められているが、町の具体的見解を問う。②「国保税限度額の見直し」とあるが、低所得者の負担とならないよう応能・応益割の比率見直しを求める。③受益者負担で

なく、国が責任を持つ国保制度のあり方を求める。町の対応を問う。  
**A** ①市町村国保の安定運営に必要。②今後の国保税改正時に考慮したい。③府と協力して国に強く要望する。

**Q** TPP参加問題  
①TPPについていろんなことが明らかになっているが、12月議会の答弁に変わりはなにか。②TPPに参加して日本農業の再生は可能と判断されるのか。③いま世界的な食

**A** ①憂慮しつつ見守っている。②明確な答えはできないが、基盤づくりや食の安心・安全が求められているとき、持続可能な生産環境づくりを考える。③大きな課題であり、地産地消を推進している。

山口利忠 議員

**Q** 通学路の安全対策について

**A** 木津警察署、公安委員会に要望

**Q** 新しいほうその保育所については、基本的には保護者が車で子どもを送迎することになるため、特に紺屋前の交差点において、朝夕の時間帯は交通量の増加が見込まれている。川西小学校の児童につ

いては徒歩で通学しているため、通学路の安全対策はできているのか。

**A** 紺屋前の交差点については、JRの踏切と連動型の信号機が設置

される。また、「歩車分離型信号」交差点信号

の川西小学校児童の通学路については、学校や関係地域の方々の調整が終わっている。

**Q** 精華台五丁目の住宅開発については、24

年度から販売が開始されると聞いている。交通量の増加が見込まれ、

祝園駅前に24時間体制のマンモス交番の設置を要望しました。



踏切と連動した歩車分離型信号

森田喜久 議員



ご当地ナンバー

**Q** 本町の出会いの場づくりは

**A** 府からの情報の活用や提供と連携を図る

**Q** 結婚にも経済的な理由がよく論じられるが、根本的には家族のあり方を考える必要がある。「子育て」の喜びに目を向け、人間らしい自然な感情としての喜びを感じ取ることが大切である。そのためには出会いの場をつ

ることが大事である。**A** 近年、未婚化、晩婚化の流れが進む中、少子化対策などを背景として「結婚活動」の支援に取り組む自治体や団体などが増えてきているが、町としてまだ出会いの場づくり支援の施策予定はない。

今後は府からの情報の活用・提供と連携を図っていく。**Q** 知名度向上に向けた原動機付き自転車のご当地ナンバーの採用を。

**A** 現在、ご当地ナンバーを採用する検討はしていないが、今後町民に対して啓発手段として有効になり得ることも考えられるので研究をしていく。

植山 米一 議員

**Q** 163号の渋滞解消と拡幅整備は

**A** 凍結路線ではなく、整備完了する見込み

**Q** 国道163号の柘榴地区から生駒市鹿畑交差点にかけての渋滞がひどい。この区間の渋滞をこれ以上放置することはできない。国土交通省や京都府、奈良県に強固に働きかけていただきたい。

**A** 供用開始年度として平成28年以降との説明があり、政府として凍結路線ということではなく、整備完了する意志が示されたことは大きな前進である。奈良県生駒市などに要望の活動をしていく。

**Q** 山田川流域等の下水道事業の進捗は

**A** 本町全体の最近の進捗率と供用開始の予定年度は。

**A** 町全体で、平成21年度末で95・4%、平成23年度末で約96%になる見込みである。山

田、乾谷、東畑地区は、平成23年度末から平成25年度末の予定。柘榴地区は整備手法の検討中であり、未定である。



交通量の多い163号

塩井 幹雄 議員



造成が進む環境型住宅地

**Q** 精華台5丁目開発は

**A** 平成24年度から入居予定

**Q** 精華台5丁目の開発は、現在造成工事中で、24年度秋には完了して、4年度から一部入居が始まると予定している。①工事の進捗状況は。②住宅の入居計画は。③省エネなどの環境対策は。④周辺の交通対策は。

**A** ①昨年3月より土木造成工事が始まり、2月時点で50%、本年の秋には完了予定である。②義務教育施設の児童生徒数の動向を十分配慮して、平成24年度が2割、25年度、26

年度も2割、残りは、27年度以降になる計画である。③精華町環境基本計画でのモデル街区であり、公共施設のLED照明の採用、太陽光発電パネル設置など省エネ住宅とすることの検討は。④地域内

には交通安全灯、主要な交差点にはカーブミラーを設置し、また、周辺の交通対策は地元自治会などと調整し、必要な施策を実施する。

**Q** 山手幹線の南進は

**A** 菅井・植田の土地区画整理事業の区画で今後地権者と事業計画作成のサポートを行い、合意がなされるよう支援する。

坪井久行 議員

**Q** 厳しい経済状況の中で、地域経済を発展させるために、①農産物の多様な形の販売ルート確保、農産物の加工品研究施設の拡充と生産工場の建設などの農業活性化策②経済波及効果の高い「住宅リフォーム助成制度」な

**A** ①の2次産業活性化策③魅力ある地域観光資源の発掘（農村文化の発掘と普及、イノシシの活用など）による商業活性化策④誘致企業と地元産業との共存共栄の関係を築くこと⑤要するに、各地域産業の内部でも、産業相互

にも関連させ、住民参加で住民に還元する地域経済循環が必要ではないか。  
**A** ①販路は一定確保している。華工房で新商品開発にとりくんでいるが、生産工場の建設は今後の検討課題。  
②住宅リフォーム助成



魅力ある地域資源

**Q**

地域経済循環の発展を

地域外産業と関係しつつ充実を図る

松田孝枝 議員



木津川の水は大丈夫？

**Q**

保育の「新システム」への移行は心配

公的責任は堅持

**Q** 「子ども・子育て支援システム」が、平成25年度を目標に進められようとしている。幼保一元化や保育所の最低基準の緩和などが盛り込まれ、保育の後退が心配されている。町の見解を問う。  
**A** 市町村の公的責任のもとに、質の高い保

育を提供する仕組みを堅持すべきで、制度設計は慎重にすべきだ。  
**Q** 保育の更なる充実のため①待機児童の有無②「過密化」の解消③直営保育所で一時保育の実施を。  
**A** ①4月当初、待機児童はいない②工夫をして、保育環境を整え

ている③現時点では実施の予定はない。  
**Q** 木津川の水をきれいに  
**Q** 三重県伊賀市の産廃最終処分場で、国の基準値を超えるPCBが検出された。木津川の水を取水する流域自治体として府・県・国に声を上げるべきだ。  
**A** 流域市町村の動向

も注視していく。  
**Q** 町内河川で水質検査の未実施河川は。  
**A** 29河川中、12河川17地点で調査をし、汚濁河川はない。  
**Q** イノシシ被害対策は。  
**A** 「防止計画」の策定を進め、大規模土地所有者の適正管理をひき続き求める。

☆広域組織の議会報告

名称	日時	場所
京都府後期高齢者医療広域連合議会	2月10日	国保連会議室
主な課題	①平成22年度一般会計補正予算(全員一致可決) ②平成22年度特別会計補正予算(全員一致可決) ③平成23年度一般会計予算(賛成多数可決) 予算総額9億6585万5千円 ④平成23年度特別会計予算(賛成多数可決) 予算総額2752億7395万8千円 ⑤副広域連合長の給与、旅費の一部改正(全員一致可決)	

名称	日時	場所
京都地方税機構	2月19日	京都府庁
主な課題	①平成22年度一般会計補正予算(賛成多数可決) ②平成23年度一般会計予算(賛成多数可決) ③副広域連合長の給与、旅費一部改正(全員一致可決) ④課税事務共同化の状況説明、取組成果の報告	

名称	日時	場所
相楽郡西部塵埃処理組合議会	2月21日	打越台環境センター
主な課題	①平成22年度会計補正予算 手当の組み替え補正(全員一致可決) ②平成23年度会計予算 予算総額5億6095万円(全員一致可決) ③職員給与に関する条例、勤務時間、休暇等の条例改正(賛成5反対2賛成多数可決) ④職員育児休業等の条例、勤務時間、休暇等の条例改正(全員一致可決)	

名称	日時	場所
相楽郡広域事務組合議会定例会	2月21日	相楽会館
主な課題	①各業務の報告 し尿処理業務・相楽消費生活センターほか ②平成22年度一般会計補正予算(全員一致可決) ③平成22年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(全員一致可決) ④平成23年度相楽郡広域事務組合一般会計予算 歳入歳出6億16,000千円(全員一致可決) ⑤平成23年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算歳入歳出11,400千円(全員一致可決)	

杉山義尋 議員



期待されるまちづくり

**Q** 狛田駅周辺のまちづくりと基本構想は

**A** 北の玄関口にふさわしいまちづくりを進める

**Q** 狛田駅周辺のまちづくり計画と実施に向けての進捗状況は。

**A** 地域の自治会長や自治会連合会に対し、基本構想の説明やまちづくりメニューの説明を実施。今後、地域におけるまちづくりの啓

**Q** 狛田駅周辺のまちづくりと基本構想は

**A** 平成25年度の完成をめざして設計および地元調整をはかり、車道6メートルと歩道2・5メートルの設計

**Q** JR狛田駅南側の踏み切りの拡幅と実施は。

**A** 平成25年度中の完成に向けて整備を進めている。菱田や里地域は歩行者

**Q** 狛田駅周辺のまちづくりと基本構想は

**A** 狛田駐在所、農免道路の歩道設置も質問しました。

**Q** 導線の確保が必要と位置づけている。

**A** 下流の川原橋の上部は秋ごろ完成。右岸側は現在、土地の買収と建物の交渉を進めている。

☆閉会中の委員会活動

委員会	開催日	審査事項
総務教育	1月25日	①学校図書館の整備について 視察研修 大阪府箕面市「市立第一中学校」 ・子どもたちが学校にいる時間は、いつも図書館は開館している。 ・人と資料や情報との架け橋だけではなく、子どもたちへの色々な相談対応も行っている。 ・子どもたちの豊かな育ちを支えるため、興味・関心をよび起こし、子どもたち一人ひとりが求める資料を届けている。 ・司書も教職員のひとりとしてともに豊かな学びの場をつくっている。
	2月18日	①幼稚園に対する支援について、園長に状況を聞く。 3幼稚園現場視察（光が丘、聖マリア、星の光幼稚園） ・特色ある幼稚園教育について（私学カリキュラム等） ・軽度発達障害児の状況、対応、加配状況、町との連携 ・延長保育・一時保育の実施状況 ・幼稚園に求められる保護者のニーズについて ・増額を希望されている理由（運営が困難になっている状況など） ・保育料の減免基準、低所得者対策
	2月25日	①精華中学校校舎耐震化計画策定中間報告（業者より報告） ・耐震補強を行う場合の問題点（費用約10億円） 補強工法の説明 Pcaアウトフレーム工法が望ましい。 ・改築を行なう場合の問題点（費用約18億円） 耐震補強と比べ多額の費用を要する（財源確保が大きな課題）
建設産業	2月8日	①煤谷川改修工事の状況（現地視察） ・京都府山城事務所の河川砂防室長より説明、順調に進んでいる。 ②イノシシによる被害地の状況 ・東畑地区を調査、捕獲現場確認、田畑の土手まで崩れている。 ・自衛隊用地との境界フェンス工事の状況確認。
民生環境	2月7日	①相楽共同作業所 ・8つからなる組織の説明と各作業内容の視察 ・作業など親の会の支援に負うところが多い。 ②かしのき放課後児童クラブ ・新設クラブの安全確認等の視察 ・夏の休み中の対応が厳しい。ワーキングシェアで対応。 ③ひかりだい放課後児童クラブ ・子育て支援を併設し、近隣の利用者も多い。 ・施設で遊ぶことが多いので、人工芝やフェンスを望む。
	2月17日	①精華町環境基本条例の概要説明 ・環境保全の基本理念、各主体（町、住民、事業者）の責務 ・環境保全および創造に関する基本施策 ②精華町まちをきれいにする条例 ・住民モラルの向上と環境美化思想の普及 ・住民にとって、清潔で快適な住みよいまちづくり

☆委員会・会派研修の報告（学んできました。今後に活かします。）

		開催日	場所	目的・内容	感想・今後の取り組み
会派	住民派の会	2月2日～3日	①武雄市役所（佐賀県） ②那珂川町役場（福岡県）	①次世代育成支援計画 ②議会改革	①組織機構の見直しで住民に馴染み易い名称に変更「未来課」「支援課」「食育課」 ・乳幼児医療費 個人負担助成制度 ・子ども放課後プラン ・子育て支援策「ファミリーサポート事業」 ②人口50,100人 議員定数18人
	民主改革クラブ	2月14日～15日	①福岡市役所 ②福山市役所（広島県）	①新しい公共のまちづくり ②めざそう！100万本のばらのまち福山	①地域と協働で進める住民主体のコミュニティづくり ②福山市の花（ばら）を通じたばらのアクションプラン ～みんなの「ばら100万本プロジェクト」～ の取り組み 精華町において、新しいコミュニティづくりにばらを活かして、まちづくりを行いたい。

# その後を追う どこまで進んだの？

議会だよりNo.128号より  
(H22.05.01発行)

## ①農業の活性化に向けた活動は

その時の答…… 農家の指導のもと、新たに「農業塾」を立ち上げた。今後こうした活動も強めていきたい。

その後現在は……

「せいか農業塾」では今年度、研修農場の面積を倍増し、新たに3期生12名のメンバーが加わり、合計20名の塾生が農業生産の研修に取り組んでいます。また、華やぎ観光農園は平成22年9月に法人化され、イチゴ高設栽培施設を増設されるなど、周年観光農業のますますの充実を図っています。

(産業振興課)



イチゴ高設栽培

## ②学研都市を活用した企業誘致と地区の開発を

その時の答…… 生産拠点の海外流出の可能性の少ない業種、技術力を経営資源の根本に置く企業などに重点を置いて企業誘致に努力したい。本町の歳入確保と地域のみなさんが働ける場所の確保につながるよう努力していく。

その後現在は……

世界同時不況後のものづくり企業の海外シフト再燃と経済情勢の不透明感から、企業の設備投資意欲が低迷し、企業誘致の環境は非常に厳しい状況が続いているが、4月現在、新規事業所の建設及び立地企業の社屋増築工事がそれぞれ1社ずつ進んでいます。引き続き、学研精華地区内の産業誘導地域約8haへの企業誘致を推進しています。

(産業振興課)

## ③ヒブなどによる細菌性髄膜炎の任意接種費用への助成は

その時の答…… 国の定期接種としての位置づけのもとに実施する。

その後現在は……

国の補助金の創設理由として、①侵襲性の感染症の予防、②当該ワクチンの予防効果の高い年齢に対しての接種を広く周知、③定期接種化も視野に入れている、これらの理由から、町として積極的に当該補助金を活用し任意接種の費用を助成しています。

(健康推進課)

### お知らせ

「次回(平成23年第2回)定例会は、6月10日からはじまります。」

次回の定例会に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は、平成23年6月1日(水)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴してみませんか

日程については、精華町議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL: 95-1908 FAX: 95-3972

議会だより・議事録が精華町ホームページより検索できます。メールアドレス [gikai@town.seika.kyoto.jp](mailto:gikai@town.seika.kyoto.jp)  
ホームページ <http://gikai.town.seika.kyoto.jp/>

# 街をつくる人

53



## 地域で育てる子どもたち

### 精華中学校コミュニティ協議会



精華中学校コミュニティ協議会は、地域とともに子供たちを育み、見守って行くことにより、落ち着きのある学校生活を送れるよう側面から関わりを持つ組織です。ボランティア活動で、学校支援、シニアスクール、体験学習、小中学校連携、地域連携を進め、校区において情報の共有を行う事業を進めております。

本協議会は、精華町教育委員会承認の精華中学校学校運営協議会の活動組織で実践的な行動ができ、平成21年10月に発足いたしました。当初はシニアスクールを開講し、8講座36名で始まり、今回第4期は16講座を開くに至りました。華創で受講生募集をし、多数受講希望を申し込まれています。講師はボランティアで大変ご協力をいただいております。熱心な講義に受講生の皆様から感謝をいただいております。

#### ふれあいの場

シニアスクールは、普段関わりが薄く、つながりのない学校の敷居を取り払うことにより、住民の皆様が講座受講という機会が気軽に学校に通って頂き、生徒との交流を自然な雰囲気の中で触れ合う事を目的に取り組みしました。各学期毎に生徒と一緒に開講式、閉講式を行い、修了書を授与しています。また生徒との昼食会や、1年生が行う中庭の花植えでも交流を行い、年間交流回数10回を数え、精華中行事として定着をさせていただきました。放課後の学習支援や図書館支援もして頂いております。23年度からは、精華中校区として支援ボランティア登録(登録会費五百円)の受け付けを開始します。登録を頂きましたら、無理なくできる範囲で各小中学校の要請に対し支援頂くことを考えています。また、コミュニティ協議会の事業や学校の情報をお知らせします。昨年8月には家庭菜園講座と、次年度新しく技術家庭科の授業内容で、作物栽培が始まります。そこで、菜園の造成を中庭にボランティアの生徒たちと協議会委員とで行いました。

#### 盛大な収穫祭

これを契機に、第1回収穫祭を11月の最終土曜日に、563名の住民の皆さんを迎え行うことができました。すべて手作りの小中学校体験学習で収穫されたお米でのおにぎり、地域住民か

ら頂いた野菜による豚汁、焼き芋、木津高校システム園芸科生産の野菜と花の即売など、盛大な収穫祭を行うことができました。次年度には、昨年実施した試食はもちろん、現在菜園栽培のタマネギやサツマイモ、木津高校の野菜の即売など実行委員会を早期に立ち上げ、精華中の伝統行事になればと思っております。

今後は、地域自治会役員、住民皆様のお力を頂き、本当の「地域で育てる子供たち」を合言葉に活動したいと考えています。まず見本となる大人で有りたいですし、その背中を子供たちに見せられるよう一人一人が行動して行きたいものです。子供たちは、地域住民に関心を持たれることにより、行動の是非を判断し、健やかな学校生活や社会生活を送ってくれるものと思います。また、子供たちからも元気をもらおう事になります。大人が恥ずかしがらず、おはよう、お帰りから声かけをお願いします。



# ギャラリー

gallery HANA

# 華

星の光幼稚園  
園児の作品



「先生の顔」

4 歳児、女児



「お話の絵」

4 歳児、女児



「運動会の絵」

3 歳児、男児



「運動会の絵」

3 歳児、女児

## 編集後記

あの巨大な津波の壁が、家を、車を、人を一気に飲み込んでいく。ついで、原子力発電所の水素爆発と建屋損壊、そして、放射能漏れ……。もう春だというのに、冷たい雪と寒風が、家と家族を失った人々の上に重くのしかかる。これからも、経済力や体力のない人には、塗炭の日々

が続くだろう。

大震災は、決して他人事ではない。地震列島日本のこと、内陸部の私たちの地域でも、活断層の動きには注意したい。だからこそ、災害に強いまちづくりは、「待った」が許されない喫緊の課題である。

東日本大震災の被災者の皆様からお見舞い申し上げます。

## 広報常任委員会

坪井 久行・山本 清悟・村尾 礼示  
青木 敏・森元 茂・内海富久子  
三原 和久

## 議会事務局

TEL.0774(95)1908  
FAX.0774(95)3972